

## 「防災・危機管理」部門幹事会（11月28日） 主要意見要旨

## （果たすべき役割）

- ・ 個別港湾の対応とあわせ、駿河湾港としての連携・分担の方向、ネットワークの視点を示すべき。
- ・ また、他港との連携、県・市との連携も検討を要する。
- ・ 東日本大震災以降、地震・津波や原子力災害だけでなく、風水害などの頻度の高い日常的な災害や、船舶事故等にも焦点をあてるべき。
- ・ 駿河湾相良港沖で発生した貨物船座礁事故（H24.9.30）の教訓を活かすべき。
- ・ 陸上からの視点に加え、船舶側からの視点でも検討する必要がある。漂流物を未然に防ぐ対策や除去した漂流物の一次集積所をあらかじめ準備すべき。

## （御前崎港）

- ・ 8 mレベルの津波が短時間で来襲する予測であるため、避難対策が最も重要。
- ・ 富士山噴火（降灰）の影響は軽微であり、河川災害も少ないため、他地域への貢献が可能。
- ・ 西ふ頭（耐震強化岸壁）へのアクセスが脆弱。複数のアクセス道路が必要。

## （田子の浦港）

- ・ 災害時には石油ターミナルが重要な役割を果たす。岸壁や臨港道路の強化が不可欠である。

## 「防災・危機管理」部門幹事

	氏名	所属		氏名	所属
幹事長	高梨成子	株式会社防災＆情報研究所代表	幹事	西園勝秀	静岡県交通基盤部港湾局長
幹事	山本正典	御前崎市防災課長補佐	幹事	山崎 浩	静岡県清水港管理局長
幹事	杉本基久雄	牧之原市総務部長	幹事	藤浪哲也	静岡県田子の浦港管理事務所長
幹事	小川義明	清水海上保安部交通課長	幹事	鈴木宣好	静岡県御前崎港管理事務所長
幹事	平澤 興	国土交通省中部地方整備局港湾空港部港湾計画課長	* 欠席：静岡市危機管理部長 * 欠席：富士市総務部長		
幹事	白崎正浩	国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所企画調整課長			